

6/19 市町を越えた支援の輪が広がる

食品用アルコール製剤「アマノール」が寄贈されました

島田青年会議所と川根本町商工会が、役場を訪れ、高齢者施設の新型コロナウイルス感染症予防のために、共同で消毒液を寄贈しました。

同会議所の太田健吾さんは「コロナ終息後も引き続き、団体や市町の枠を越えて貢献していきたい」と話しました。

消毒液は、両団体の代表者が直接施設を訪れ、配布しました。消毒液を受け取った生きデイ高齢者生がいの郷の伊藤満里子さんは「利用者の感染症予防のために大切に使用したい」と話しました。



寄贈された消毒液は大切に使います

ごしき 五色の短冊に願いを込めて

7/3

「コロナには負けない」ケアラズカフェ再開に喜びの声

ケアラズカフェの利用者を対象に、創造と生きがいの湯で七夕を祝う会が開催されました。

この日は、新型コロナウイルス感染症予防のため、利用者の人数を制限し、利用前に体温測定をするなど対策を講じた中で行われました。

利用者は「コロナが早く終わって欲しい」や「健康でいられますように」など思い思いに短冊に願いごとを書き、住民ボランティアが用意した笹にていねいに飾り付けていました。

昼食後、三味線やピアノの伴奏で、童謡「たなばたさま」を職員一同手拍子に合わせて歌いました。



短冊をていねいに笹に吊す利用者

7/13 駅伝大会に向けた第一歩！

昨年の記録更新を目標に一丸となって練習スタート！



初練習でトレーニングに励む参加者

12月5日に開催される「第21回静岡県市町対抗駅伝競走大会」に向けて、練習が始まりました。

練習初日はあいにくの雨模様でしたが、中川根第一小学校の体育館に集まった参加者らは、ストレッチなどで汗を流しました。

体育館には、感染症予防のために消毒液が用意され、換気を徹底するなど、例年とは異なる雰囲気となりましたが、川根高校1年生で川根留学生の山田蓮さんは「自分にも出場資格があることを知り、参加しました。チームのベストタイム更新に貢献したい」と意気込みを語りました。

7/12 迫力ある演奏で観客を魅了

赤石太鼓保存会による演奏会が開催されました



強い日差しにも負けない迫力ある演奏会

赤石太鼓保存会による7月定期演奏会が音戯の郷入口のロータリーで行われました。

この日、「赤石山霊龍神太鼓」など全5曲が披露され、観光客らは足を止め、勇壮で迫力のある音色に聞き入っていました。

演奏会には、小学生の叩き手も参加。ばちに全身の力を込めて一生懸命叩く姿に、観客らは笑顔で拍手を送っていました。

中川根第一小学校6年生の山本悠真さんは「緊張したけど、うまく叩くことができた。次の演奏会に向けてもっと練習を重ねたい」と力強く話しました。

役場の仕事ってどんなこと? 7/15

中川根第一小学校の児童が社会科の授業で役場を見学しました

中川根第一小学校の3年生4名が社会科の授業の一環で役場を訪れ、自分たちが住む町や税金の仕組みなどを学びました。

児童らは、職員の説明を真剣に聞きながらメモを取り、「役場はいつからあるの」や「町のために工夫していることは」などと積極的に質問をしていました。

見学をした中澤美結さんは「役場がどんな仕事をしているのか知ることができた。どうすれば、住む人が笑顔で幸せに暮らせる町になるのか考えたい」と話しました。



職員の説明を真剣に聞く児童ら

「早く地域に貢献したい」思い強く 7/12

有事の際の心構えと団員としての規律を学びました

山村開発センターで、川根本町消防団の幹部団員や新入団員らを対象に教養訓練が行われました。約60名の団員が参加し、消防団の規律や有事の際の心得など本部役員から指導を受けました。

新入団員は、号令の意味や敬礼の姿勢に戸惑いながらも訓練に臨んでいました。

第6分団の鈴木将大さんは「先輩団員から多くを学び、地域に早く貢献できるように、日々の訓練に励みたい」と話しました。



消防団の規律や所作を学ぶ新入団員